

平成27年度 高体連報告書

新体操専門部委員長 西川 隆剛

平成26年度最後の大会である全国高等学校新体操選抜大会は、広島県立総合体育館において開催された。県勢としては男女ともに期待のかかる競技であるが、男子の神埼清明高校は2年連続団体3位入賞、女子の佐賀女子高校は演技途中でミスがあり17位という結果に終わった。

新年度を迎えての県高校総体では、全国総体の出場権をかけ、各チームとも演技に磨きをかけてきた。女子は、佐賀北高校と佐賀清和高校が九州大会出場をかけた勝負も見どころである。結果、佐賀女子高校が優勝、2位に佐賀北高校が入り九州大会出場を決めた。男子は、神埼清明が優勝を果たし、全国総体への出場権をかけ九州大会に出場した。

北九州市立総合体育館で開催された九州大会では、男子の神埼清明は見事な演技を見せ3年ぶりの優勝を果たした。女子の佐賀女子高校は若干のミスがあり2位に、佐賀北高校は3位につけた。県勢として、男子の優勝・女子団体2校の上位入賞は大きな収穫ではなかったかと思う。

全国高校総体新体操大会は、8月大阪市中央体育館で開催された。

初日は個人競技が行われ、男女とも2種目の演技を行い総合順位が決まる。男子個人で出場した栗山は九州大会3連覇を果たしており、優勝に期待がかかる。演技順1番という新体操としては不利な状況であったが、2種目の演技をノーミスで実施し、高得点をマークした。その後、後半にかけ、全国選抜大会優勝者等上位入賞が期待される選手が続いたが、演技中盤のミスがあり栗山を抜くことはできなかった。試合終盤、栗山の個人制覇に期待がかかったが、三重県高田高校堀選手が栗山の上を行く点数が叩き出し、結果総合準優勝という結果だった。一方、女子個人に出場した辻村佳奈は上位入賞に期待されていたが、難度の評価が低く総合14位に終わった。

2日目は男女団体競技が行われた。団体にも期待がかかるが、男子団体の神埼清明は個人と同じく、演技順1番という採点競技としては厳しい状況だった。演技序盤より難度の高い技を繰り出すと、最後までノーミスで演技をやり終えた。結果、19点台の高得点をマークした。このまま試合を逃げ切りたいところだったが、試合後半、名門青森山田高校が神埼清明を0.100上回る点数を出し、2位という結果に終わった。

女子団体の佐賀女子高校は、演技中盤のミスや何度不足による減点により得点が伸びず、33位という結果に終わった。

今年度、九州大会での成績は男女とも素晴らしいものがあつたと思う。特に女子2校の上位入賞は、競技力向上の大きな成果として表れたのではないか。来年度は、地元佐賀で九州大会開催を控え、運営側として大変な年になる。その中でもよい競技成績を残せるよう、専門部員と協力し競技力向上と大会運営にあたりたい。

●全国選抜大会

[男子団体]

順位	学校名	構成	実施	合計
3位	神埼清明高校	9.525	9.275	18.800

[女子団体]

順位	学校名	構成	実施	合計
17位	佐賀女子高校	5.600	6.533	12.133

[男子個人]

順位	学校名	スティック	リング	ロープ	クラブ	合計
3位	栗山 巧(清明)	8.850	9.000	9.175	9.200	36.225

[女子個人]

順位	選手名(学校名)	フープ	ボール	クラブ	リボン	合計
13位	辻村 佳奈(佐女)	10.850	11.900	11.350	11.050	45.150

●全国高校総体

[男子団体]

順位	学校名	構成	実施	合計
2位	神埼清明高校	9.600	9.450	19.050

[男子個人]

順位	選手名(学校名)	スティック	リング	合計
2位	栗山 巧(清明)	9.350	9.250	18.600

[女子団体]

順位	学校名	D	E	合計
33位	佐賀女子高校	5.700	5.266	10.966

[女子個人]

順位	選手名(学校名)	フープ	クラブ	合計
14位	辻村 佳奈(佐女)	11.600	11.450	23.050